

## 平成29年度 公共下水道事業 決算概要

### ● 雨水や汚水を処理するために必要な経費の収支(収益的収支)状況

【単位:円(税抜)】

収 入 項 目	決 算 額	構 成 比	支 出 項 目	決 算 額	構 成 比
下 水 道 使 用 料	1,918,874,334	49.8	管 渠 費	101,768,727	2.7
手 数 料	1,114,520	0.1	流 域 下 水 道 管 理 費	547,116,338	14.7
一 般 会 計 繰 入 金	532,068,857	13.8	水 洗 化 促 進 費	18,995,394	0.5
雑 収 益	616,394	0.0	業 務 費	66,165,395	1.8
特 別 利 益	50,344,065	1.3	総 係 費	195,626,772	5.3
長 期 前 受 金 戻 入	1,347,441,948	35.0	減 価 償 却 費	2,273,507,889	61.3
			支 払 利 息	501,035,258	13.5
			雑 支 出	4,462,193	0.1
			特 別 損 失	2,708,694	0.1
総 合 計	3,850,460,118	100.0	総 合 計	3,711,386,660	100.0

収 入	下水道使用料 19億1,887万円	長期前受金戻入 13億4,744万円	雨水を処理するための経費等に対する 一般会計繰入金(税金) 5億3,206万8千円	その他収入 5,208万2千円
支 出	下水道管や流域処理場等の維持管理費用 (担当職員8名分の人件費を含む) 9億2,967万3千円	減価償却費 22億7,350万8千円	支払利息 5億103万6千円	その他支出 717万円
				当年度純利益 1億3,907万3千円

### ● 下水道管を建設するために必要な経費の収支(資本的収支)状況

【単位:円】

収 入 項 目	決 算 額	構 成 比	支 出 項 目	決 算 額	構 成 比
企 業 債	1,204,600,000	79.3	公 共 下 水 道 整 備 費	458,105,448	17.9
受 益 者 負 担 金	40,250,810	2.6	流 域 下 水 道 整 備 費	49,757,084	2.0
工 事 負 担 金	0	0.0	営 業 設 備 費	182,000	0.0
一 般 会 計 繰 入 金	174,633,747	11.5	企 業 債 償 還 金	2,046,746,373	80.1
国 庫 補 助 金	100,190,000	6.6			
総 合 計	1,519,674,557	100.0	総 合 計	2,554,790,905	100.0

収 入	国庫補助金 1億19万円	負担金 4,025万円	借入金(企業債) 12億460万円	一般会計繰入金 1億7,463万4千円	※資本的収支に おける不足額 10億3,511万6千円
支 出	下水道管を布設するための費用(担当職員8名分の人件費を含む) 5億4,174万9千円		借入金元金返済(企業債償還金) 20億4,674万6千円		

※ 資本的収支における不足額については、当年度損益勘定留保資金等で補填しています。

平成23年度から公共下水道事業は、特別会計(官公庁会計)方式から企業会計方式へ移行しました。

・公共下水道事業は、平成23年度から企業会計方式に移行したことにより、損益計算書などの財務諸表を作成することができることとなったため、経営状況を明確にすることが可能となりました。

・収益的収支については、収入が3,850,460千円、費用が3,711,387千円となり、当年度純利益として139,073千円の黒字となりました。

・資本的収支については、収入が1,519,675千円、支出が2,554,791千円となり、1,035,116千円の収支不足となりましたが、減価償却費等の補てん財源にて補いました。

・一般会計繰入金については、赤字補てんとしての税金を繰り入れることなく、独立採算を堅持しています。